

平成21年度  
事業実績報告書

申請者の概要

申請者	団体名	藤井寺市商工会		
	代表者職・氏名	会長 大西喜信		
	所在地	〒583-0027 大阪府藤井寺市岡1-2-16		
	担当者	職・氏名	事務局長 田中義孝	
		連絡先	電話番号(直通):	072-939-7047
Fax:			072-952-3118	
E-mail:	fujisho@f-sukiyanen.or.jp			
設立年月日 職員数 (うち経営指導員数) 所管地域 管内事業所数 管内小規模事業者数 会員数(組織率)		昭和37年6月14日 8名(8名) 藤井寺市 2,728 (平成18年事業所統計調査による) 2,057 (平成18年事業所統計調査による) 1,456(53.4%) (平成22年3月31日現在)		
については直近の数字を記載のこと				
<b>主な事業概要(定款記載事項等)</b>				
商工業に関し、相談に応じ、又は指導を行うこと。 商工業に関する情報又は資料を収集し、及び提供すること。 商工業に関する調査研究を行うこと。 商工業に関する講習会又は講演会を開催すること。 展示会、共進会等を開催し、又はこれらの開催のあっせんを行うこと。 商工業者の福利厚生に資する事業を行うこと。 商工業に関する施設を設置し、維持し、又は運用すること。 商工会としての意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し、又は建議すること。 行政庁等の諮問に応じて答申すること。 行政庁から委託を受けた事務を行うこと。 社会一般の福祉の増進に資する事業を行うこと。 商工業者の委託を受けて当該商工業者が行うべき事務(その従業員のための事務を含む)を処理すること。 大阪府商工会連合会の委託を受けて、商工貯蓄共済事業の業務を行うこと。 外国人研修生受け入れに関する事業を行うこと。 前各号に掲げるもののほか、その他商工会の目的を達成するために必要な業務を行うこと。				

# 各種データ

藤井寺市商工会

## 経営指導員の相談

業種別	相談区分	巡回相談										相談対象企業数		
		経営革新	経営一般	IT	金融	税務	労務	取引	環境対策	法律	その他	計		うち 会員数
製造業		0	38	0	11	21	61	4	0	0	0	135	52	社 社
建設業		0	26	0	18	25	26	0	0	0	0	95	54	
小売業		0	42	0	26	74	27	0	0	0	0	169	77	
卸売業		0	5	0	3	6	2	0	0	0	0	16	10	
サービス業		0	18	1	16	31	24	0	0	0	0	90	43	
その他		0	36	0	32	52	53	1	0	0	0	174	76	
小計		0	165	1	106	209	193	5	0	0	0	679	312	
創業		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計		0	165	1	106	209	193	5	0	0	0	679	312	303

その他の内訳

{ }

業種別	相談区分	窓口相談（通信、電話等によるものを含む）										相談対象企業数		
		経営革新	経営一般	IT	金融	税務	労務	取引	環境対策	法律	その他	計		うち 会員数
製造業		0	43	0	29	133	267	2	0	0	0	474	117	社 社
建設業		0	31	0	41	202	212	3	0	0	0	489	178	
小売業		1	19	1	33	206	90	0	0	0	0	350	156	
卸売業		0	7	0	13	18	54	0	0	0	0	92	29	
サービス業		0	34	2	31	202	179	2	0	0	0	450	160	
その他		0	47	2	49	356	140	1	0	0	0	595	238	
小計		1	181	5	196	1,117	942	8	0	0	0	2,450	878	
創業		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計		1	181	5	196	1,117	942	8	0	0	0	2,450	878	847

その他の内訳

{ }

注) その他・・・デザイン、技術、事業継承、後継者問題、M&A、BCP（事業継承計画）、CSR（企業の社会的責任）など

注) 会員であるか非会員であるかは、相談した時点で区別すること

## 藤井寺市商工会

## (1) 事業の目標

事業の目標は、地域商工業の活性化を図ることである。具体的には、地域内支援対象事業者が抱えるさらなる課題の把握とその解決に努めること。地域資源を有効活用すること。各種支援機関並びに行政機関等へのコーディネートを経済的に進めることである。その手段としては、地域内支援対象事業者に対し、きめ細かく内容の充実した巡回相談を1,000件、満足してもらえる窓口相談を2,400件行うことである。

## (2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点

事業を実施した具体的な内容、方法は、まず、経営指導員研修を活用した経営指導員の資質向上により商工会内部資源の強化策を行う。次に、外部資源の活用である。各種支援機関や行政機関等との連携や連絡を密に行うことでコミュニケーションを円滑にする。そして、地域内支援対象事業者に対し内容の充実したサービスを行うために活かす。工夫した点は、ワンストップサービスを充実させることは基より商工会が行う各種事業との連携を図り効率的に実施する。そのために、経営指導員間で毎月1回のミーティング、研修会や説明会に参加した経営指導員より内容報告、資料の回覧、事業担当者間の情報伝達等を行った。また、巡回指導、窓口指導等のサービス提供の際には、利用者の生の声を聞くようにヒヤリングを行うよう努めた。特に定額給付金交付に伴う販促事業については、アンケート調査の回収をなるべく直接行うようにした。

## (3) 事業を実施した効果

事業を実施した効果は、外部資源との連携が強化したこと、利用者ニーズを収集出来たこと、である。具体的には、各種支援機関、行政機関、事業者との間でコミュニケーションが更に円滑になった。そのうえ、近畿日本鉄道株式会社、イオンモール株式会社等民間機関や四天王寺大学、大阪女子短期大学とも連携が強化した。このような外部資源を有効活用するための体制が整った。アンケート調査により事業者の生の声が聞けたことやアンケート調査の項目に無い意見が収集できたことでサービスの方向性がつかめることができた。昨年より藤井寺市商業活性化の助成金がソフト面も利用できるようになっており、あらゆる角度からのサービス提案を行うことの基礎固めになった。一方、商業面においてオリジナル商品を検討するなど昨年より増して商店主が自ら商店街の活性化事業に動き出す姿勢を見せ始めたことも環境変化の機会と捉えることができた。そのうえ、新しくオープンした藤井寺まちかど情報館を一層活用する意識付けができた。

## (4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題

事業を実施した結果浮かび上がった課題は、新たな産業の創出や地域ブランド開発等による地域内経済の活性化である。藤井寺市は地域の特産品や物産がほとんど無いに等しい。神社、仏閣などの歴史的な地域資源はあるが、活用する方法は困難である。したがって、地域内組織の連携、協力が必要である。既存の地域資源を有効に活用し、地域商業活性化を図ることである。違う側面からは、反省点として工業面においてのサービス提供が少なかったことである。地域内経済を発展させるためには、商業と工業が連携し共に発展して行くことが不可欠である。そのためには地域内のコミュニケーションを尚一層円滑にし、ニーズや情報を収集しやすい体制を構築することである。地域ブランド創出を地域内全体で考えていく姿勢が望ましい。

## (5) 来年度への取り組み

来年度への取り組みは、新たな産業の創出や地域ブランド開発等による地域内経済の活性化を達成するために、地域内事業者が抱える課題や悩みの把握と解決に努めることにポイントを置くことである。そのためには、地域内事業者が何を求めているのかを的確に把握する手段として経営指導員が積極的に巡回活動を実施する。それらのニーズに対してきめ細かく内容の充実した提案サービスを行う。更には地域資源を有効活用し、各種支援機関、行政機関等への積極的なコーディネートを行う。大企業や専門家団体等の外部民間機関との連携を強化し、民間活力の活用も視野に入れ事業を展開して行く。そして、成果・効果が具体的な数字で把握できるよう見える化を行いたい。

藤井寺市商工会

一般経営相談・情報提供事業

支援のポイント・成果

支援のポイントは、利用者満足度を向上させることである。巡回指導においては、月約80件の指導を目標として地域内の巡回担当地区を各経営指導員に配分する。巡回移動時間を短縮し効率的で充実した指導を行うと共に情報収集を容易し、小規模事業者の必要とする支援を積極的に提供する。各種施策の普及や利用を促進させ経営改善へ繋げる。窓口指導においては、昨年度と同ベースの月200件を目標としてワンストップサービスの着実な実施を行う。経営指導員間で情報の共有化を行い、高度なサービスと迅速な処理を行う。

成果は、窓口相談において目標どおり実施できたが、巡回相談においては地域活性化事業が積極的な動きを見せたため目標を下回る結果になった。しかし、利用者満足度からも推定できるように充実した内容のサービスが提供できた。

事業名	指標	目標数値	実績数値	達成率	利用者満足度(点)	事業評価
巡回相談	相談件数	1,000	679	67.9%	95.0	4
窓口相談	相談件数	2,400	2,450	102.1%	95.3	4

課題別経営相談支援事業

支援のポイント・成果

支援のポイントは、事業経営において小規模事業者が自ら専門的でより高度な知識を習得することである。複雑な課題を解決させ事業者の負担を軽減し効果的な経営に資する。また、必要とする資金調達を円滑にし資金繰りの安定化による経営の安定に繋げる。

成果は、目標をほぼ達成し充実したサービスを提供できた。金融支援においては、100%の達成率ではなかったが利用者満足度に現れているように問題はなかったように思える。専門家と経営指導員の情報交換により、経営指導員の資質向上に効果があった。

事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	利用者満足度(点)	事業評価
金融支援	継続	あっせん件数	45	40	88.9%	92.8	4
記帳支援	継続	指導事業所数	40	40	100.0%	80.0	4
法務支援	継続	相談実施日数	6	6	100.0%	92.5	4
税務支援	継続	相談実施日数	24	24	100.0%	95.2	4
労務支援	継続	相談実施日数	24	24	100.0%	88.7	4

専門人材等連携促進事業

支援のポイント・成果

支援のポイントは、経営者として必要な知識を習得することにより、事業経営において起こりうる問題の解決と予防を行えるようにすることである。様々な助成金活用の活用や日常の経理処理を始め、円滑な資金調達、プロモーション活動、事業承継などの知識を付け経営活動に活かす。成果は、参加人数について若干少ないように思えるが、少人数体制で質疑応答が充実したセミナーもあった。利用者満足度からも分かるように小規模事業者への知識習得はできたと思う。質疑応答などで把握したニーズを活かしセミナー企画をもっと充実させたい。

重点事業	事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	利用者満足度(点)	事業評価
	雇用保険助成金活用セミナー	新規	参加人数	30	11	36.7%	80.0	3
	簿記教室	継続	参加人数	30	24	80.0%	78.4	3
	金融説明会	継続	参加人数	20	12	60.0%	87.8	3
	パワーポイント講習会	新規	参加人数	15	7	46.7%	96.7	3
	事業承継者のための経営入門研修	新規	参加人数	20	20	100.0%	94.2	4

地域活性化事業

支援のポイント・成果

支援のポイントは、市内商工業全体の業績向上を図ることである。市内商工業者に対して積極的に経営活動を支援し、各種支援機関や行政機関と事業提携をすることで、商工業者の費用負担を軽減することができる。また、迅速且つ効果的な経営活動が行えるようになり、より円滑な活性化事業の推進と仕組みづくりで地域全体の活気を取り戻す。そうすることで新たな販路開拓やビジネスチャンスを創出する。

成果は、定額給付金交付に伴う販促事業において、市内の店主のニーズ(販売促進を始めとするプロモーション活動支援)を直接聞くことができたことが収穫であった。また、各種事業と連携したことで事業推進にも役立った。これらの事業から得られたニーズに対する確に対応するための基礎作りのきっかけができた。今後は、藤井寺まちかど情報館を情報発信と情報収集の拠点として活用して行きたい。

重点事業	事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	利用者満足度(点)	事業評価
	小山団扇復活事業	継続	事業達成度	100	50	50.0%	50.0	3
	道明寺粉作品コンクール事業	新規	事業達成度	100	80	80.0%	80.0	4
	定額給付金交付に伴う販促事業	新規	事業達成度	100	80	80.0%	50.0	4
	商業施設代表者会議	継続	事業達成度	100	80	80.0%	50.0	4
	商店街の現状調査研究	継続	事業達成度	100	80	80.0%	50.0	4
	藤井寺まちかど情報館事業	新規	事業達成度	100	80	80.0%	80.0	4
	ふじいでら物産展	継続	参加企業数	10	13	130.0%	74.8	3
	大阪勧業展	継続	参加企業数	1	0	0.0%	50.0	3
	産業フェア-inまつばら	継続	参加企業数	1	1	100.0%	100.0	4
	地域創造ファンド事業	継続	事業達成度	100	50	50.0%	50.0	3
	地域力連携拠点事業	継続	事業達成度	100	50	50.0%	70.0	3



藤井寺市商工会

事業名	定額給付金交付に伴う販促事業				
新規/継続	新規				
想定している実施期間	21年(開始) ~ 21年(終了)		今年度 1 年目		
実施期間全体を通じて予定している事業計画	定額給付金交付に伴い市内商店の売上向上を目的とした販促グッズの配布と設置を行う。消費者の購買意欲を向上させ消費の拡大を図る。				
継続事業の場合	これまでの実施状況と効果・成果				
本事業の対象となる地域の現状や課題	本市商工業は、急激な経済状況の悪化に伴い非常に厳しく且つ深刻な状況にある。大型商業施設撤退や商店街の空洞化、購買客の市外流失などで売上減少が大きな問題となり、新たな集客力の創出や地域内消費の活性化等が課題とされている。また、藤井寺球場の廃場、取り壊しが行われ、大きな観光資源を失い全国的に有名であった藤井寺市の知名度が低下している。既存する観光資源の有効活用や新たな観光資源の創出により知名度を回復させ観光客を始めとする流入者の増加を図り、地域全体の活気を取り戻し、ひいては地域商工業全体を発展させることが課題となっている。定額給付金の交付に伴い販売促進グッズを市内各所に配布、設置する事により消費者の購買意欲を高め売上向上を図る。				
目標に対する実績	指標	事業達成度			
	目標数値	100	実績数値	80	達成率 80.0%
目標	定額給付金の交付に伴い市内商店の売上向上を目的とした販促グッズの無料配布と設置を行うことで事業者の負担を軽減すると共に消費者の購買意欲を向上させ消費の拡大を図り売上向上を目標とする。数値については満足度を100とし定額給付金の交付終了時期をめぐり商店街を中心にその効果をアンケート調査する。				
事業を実施した具体的な内容・方法・時期	懸垂幕、横断幕の設置 平成21年4月15日～9月30日(藤井寺市商工会館、イオンモール株式会社、藤井寺市役所、藤井寺市役所支所) 平成21年4月15日～6月30日(藤井寺駅、道明寺駅) 定額給付金販促グッズの配布 平成21年4月初旬から(のぼり300本、ポスター600枚、イベントカード2000枚)以上3点を市内商店街、商業施設、特定郵便局、各個店に配布、ポスターは市内の市広報場にも貼り付けた。以上の方法にて4月初旬から「LOVE FUJIEDERA大感謝祭」を開催、藤井寺市内での定額給付金利用を呼び掛けた。				
マスコミ等に取り上げられた回数	0				
PR方法とその影響	商工会の広報媒体、HPによる販促グッズ配布PR、藤井寺市との連携により定額給付金給付決定通知書の裏面に販促ポスターと同デザインを印刷し対象市民全員にPRした。その影響は市民が普段から目に付く場所に掲示したことによって周知ができた。日常会話の中に話題として取り上げられるケースが増えた。				
利用者満足度(点)	80				
事業評価	4				
実施した効果	藤井寺市内の事業者、藤井寺市、近畿日本鉄道株式会社、イオンモール株式会社との連携により情報交換が容易に行えるようになった。特に市内事業者は販売促進活動を考えもらえるきっかけ作りができた。「スタンプラリーの開催」等、商店街の元気を取り戻してもらっ基盤づくりの効果が有った。また、アンケート調査をすることにより、事業者の生の声が聞けたので、事業者のニーズを把握できた効果があった。今後は事業者が普段思っていることや希望する支援などのニーズを正確に把握し、それに合ったサービスを提供していくことの重要性に気づいた。				
実施した結果浮かび上がった課題および次期以降への取り組み	アンケートの内容としては、売上、客単価、客数、新規顧客数、満足度は定量的な効果は表れなかった。しかし、事業者とのコミュニケーションが円滑になったことで、事業者のニーズの収集ができるようになったことや「地域振興券」の効果との違い(現金支給の効果は現れにくい)をつかめたなど定性的な効果があった。浮かび上がった課題は、事業者との接点を増加させ、求めるニーズに対して的確なサービスを行うことである。取り組みとしては、平成20年度より実施している商業施設代表者会議と商店街の現状調査事業を1つにしたものにこの事業で得たものをマッチングさせ地域商業活性化を推進させる。				
事業全体の収支状況	収入	小規模補助金 1,223,948円			支出
	商工会負担金 493,948円	活動費 730,000円			ポスター印刷費 201,075円
		のぼり作成費 491,400円			懸垂幕作成費 257,775円
		消耗品費 37,646円			
	計 1,717,896円	計 1,717,896円			